

絵画あるいは戦いの日々
関根勢之助
1929
/
2003



期間 2013年6月1日[土]ー7月15日[月]
場所 京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA
@KCUA1 | ギャラリー A

Scinosuke Sekine 1929–2003
at Kyoto City University of Arts Art Gallery @KCUA
Saturday 1 June–Monday 15 July 2013

主催：
京都市立芸術大学
企画：
京都市立芸術大学構想設計研究室
協力：
京都市美術館
京都国立近代美術館
国立国際美術館
京都文化博物館
京都市立芸術大学芸術資料館

@KCUA
KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY

絵画あるいは戦いの日々 関根勢之助 1929-2003

Seinosuke Sekine 1929-2003
at Kyoto City University of Arts Art Gallery @KCUA
Saturday 1 June-Monday 15 July 2013

Design: Masayuki Towata + Takuya Minami



1

2

3

4

5

6

期間 2013年6月1日[土]-7月15日[月]
場所 京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA
@KCUA 1 | ギャラリーA

休館日: 月曜日 / 観覧料: 無料
時間: 11:00-19:00 (最終入館 18:45 まで)

| オープニングパーティー | 6月1日[土] 16:00-
| 関連企画 |
• Sweet Revenge 2013年6月1日[土]-7月15日[月]
京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA
@KCUA 1、ギャラリーB、ギャラリーC
• 「days—ある映像のためのデッサン」上映
期間: 6月11日[火]-22日[土] (月曜休廊)
場所: ギャラリー16
時間: 12:00-19:00 (日曜日および最終日は 18:00 終了)

関根勢之助は京都市立美術専門学校(現京都市立芸術大学)を卒業し、独立展に入選、その後「ゼロの会」や「VOLの会」を設立し絵画を起点としながら先鋭的かつ実験的な制作を続けながら多くの美術家・文学者・研究者との公流を通して幅広い活動を行いました。

また京都市立芸術大学でも長く教鞭をとり、構想設計専攻の基盤を作り多くの優れたアーティストや様々な領域で人材を輩出しました。

本展覧会は関根勢之助の絵画と美術・教育などを束縛する制度的な思考と戦い続けながら同時に詩情にあふれた創作活動の軌跡をたどります。今回は原発の問題を先駆的に示唆した「炉と灰」や目を閉じて描かれた「ブラインドドローイング」などの実験的な作品と共に立体の小品や「VOL」などの資料も同時に展示し、その活動の全貌を展観します。

1. 炉と灰 / 鉄、大理石 / 国立国際美術館所蔵 / 1993
 2. 洪水伝説 (在るもの見ること) [2] / シルクスクリーン / 国立国際美術館所蔵 / 1980
 3. アルファベット (AEIOU) / シルクスクリーン / 国立国際美術館所蔵 / 1975
 4. 神話について (組まれた木の神話) / 京都市美術館所蔵 / モノプリント、木 / 1980
 5. 沈黙のエヴァ / 京都市立芸術大学所蔵 / 絵画 / 1966
 6. 03—絵画—或は戦いの日々 / 京都文化博物館所蔵 / 絵画 / 2003
- 表画: 六月の声 / 絵画 / 国立京都近代美術館所蔵 / 1964



京都市立芸術大学ギャラリー
@KCUA (アクア) [堀川御池ギャラリー内]

地下鉄「二条城前」駅(2番出口)徒歩約3分
市バス「堀川御池」バス停下車すぐ
京都市中京区油小路通御池押小路町239-1
〒604-0052 <http://www.kcuu.ac.jp/gallery/>
お問合わせ 075-253-1509 (ギャラリー)



主催: 京都市立芸術大学
企画: 京都市立芸術大学構想設計研究室
協力: 京都市美術館、京都国立近代美術館、
国立国際美術館、京都文化博物館、
京都市立芸術大学芸術資料館

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts



@KCUA
KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY